

野間清伝様

市川昌方が書いて下さる。而せり呈きたる「大日本史」  
市川贈の市川報お歳辰よく布下下さる。拙書は  
十七八才の折家傳の水々如放本百巻を讀破し  
ました。該書ハ家道沈淪のみざり傳表數  
千巻の古書と共に書却、その後旧法字本を  
半の入れ通読、然るにこれ又放逸なる大學時  
代に佚散し、目下書齋に此の名着有るを惜  
しみたりす。大日本史の史傳の二敵に  
る、批評の愴烈なる、行文の清濁なる、まこと  
に世界無比の記録。史記の修辭的價値の  
如き、本書に比較し人物の數は是らぬを見出し  
ますのは本邦學術史上の誇りと信じます。  
市川刊を約之旨するに力があります。敬慕心。

大正期、明治期にも翻刻本ありしに心にはあま  
かゝるもの有りし由先達よりお聞、今夜のものニ  
未だ永劫の定本ありべく、切に希望いたします。

牛込左内町三十一

三上於菟吉

十月五日



小石

門

遊

亭

洞

清

符

史



西垣文庫

文庫 10

8827

8 (13)

750

十月廿二日

手抄  
送在体所  
三子  
云云  
求  
甚  
上  
日

